



連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

この夏は記録的な猛暑でした。東京では最高気温35度以上の猛暑日が観測史上最も長く連続しました。そもそも私が子供の頃は「夏日」はあっても猛暑日という言葉はありませんでした。調べてみると平成19年から気象用語として採用されています。それに応じるように年々真夏の気温が上昇する傾向にあり、平成25年の8月には高知県で41度を記録しています。今年も新聞やテレビのニュースでは連日38度、39度と報道されているのを見聞きしているだけで目眩がしそうです。勿論この猛暑の影響で熱中症の例も後を絶ちません。

思い起こせば、このミサトピア小倉病院は開設当初は冷房機能がありませんでした。真夏は窓を全開にして何とか風を取り込むのですが、涼しくしようとしているのか熱風を取り込んでいるのかよく分からない状態でした。とうとう平成20年より大工事の末に冷房が備わったのですが、冷却機能が弱かったり床が結露したりでなかなか思うように機能せずに歯がゆい思いをしておりました。果たして今年はと言えば、梅雨が明けた直後は蒸し暑い日もありましたが、8月に入ると温度管理も概ね良好となり、猛暑猛暑と騒ぐ割には比較的快適に過ごせるようになったと思います。

「大きな建物の空調管理は難しい、けれどもそこに暮らす者の健康に直結している」とは、前院長の篠崎英夫先生のお言葉です。この夏、良好な環境を実現することができたのは、当院営繕部の三村さんが頻繁に各病棟を見回って状況を把握し、職員の訴えにきちんと耳を傾けて適度に管理してくれていることの賜物だと思っています。

表紙写真

写真タイトル：「 燕岳山頂 」

撮影者： 樋口 孝

登って良かったと思える、素晴らしい景色でした。

サマーイベント

納涼祭

1-1病棟では、7月11日に納涼祭を行いました。お祭りの雰囲気味わっていただけるように、会場のホールは、のれんやパラソル・ビーチボールを飾り、職員は浴衣やハッピー・甚平を着て参加しました。

お祭りのメインは、たっぷり2時間歌い放題のカラオケ大会と冷たくて甘いもの。「水ようかん・かき氷・ゼリー入りジュース」の3種類を提供しました。水ようかんは、午前中に患者さんと一緒に作りました。

土曜日の午後に行ったため、多くのご家族様にも参加していただくことができました。患者さん・ご家族様ともに笑顔がみられ、とても楽しんでいただけた様子でした。



七夕レクリエーション

2-3病棟では7月8日、1-3病棟では7月15日に七夕レクを行いました。

2-3病棟では、七夕についてのお話と、何故七夕には短冊を飾るのかという内容のお話を紙芝居で行いました。お話の中には患者さんや職員が知らないお話もあり、とても感心した様子でした。七夕飾り作りでは、1人1人がそれぞれの願いごとを短冊に書き、書いた短冊を自分の手で笹に飾りました。最後に午前中に準備をして冷やしておいたフルーチェを食べました。普段とは一味違うおやつにととても満足された様子でした。



1-3病棟では、まず、七夕飾り作りを行いました。ホールで短冊へ願いごとを書き、書き終えた方から記念写真を撮り、おやつにゼリーを食べました。最後に、七夕にちなんで星座観察のDVD鑑賞を行い、無事にレクは終了しました。



紙芝居



星座観察

スイカ割り

2-2病棟では、8月12日に毎年行われているスイカ割りを行いました。



今年はスイカ割りに加え、職員による早食い大会も行われ、患者さんの盛り上がりも大変なものでした。

スイカ割りは、数名の患者さんが参加しました。車イスや杖をつきながらの参加でしたが、周囲のかけ声で一生懸命スイカを割りました。会食では、普段あまり水分好まない患者さんも、スイカをおいしそうに召し上がっていました。

患者さんからは『来年もやって欲しい』との要望がさっそくあがりました。



演奏会

平成27年6月27日（土）に、院内の体育館で演奏会が開催されました。今回は、『松本市民吹奏楽団』のみなさんにお越しいただき、演奏をしていただきました。

松本市民吹奏楽団は、松本市近郊在住の楽器愛好家の方々が集まったアマチュア吹奏楽団です。今年で創立36年を迎え、主な団員は社会人ですが、高校生の団員もいて、幅広い年齢層で日々音楽活動に励んでいます。地域に根ざした楽団で、当財団の安曇野メディアにも足を運んでいただき、演奏をしていただいています。



今回行われた演奏会では、NHK連続テレビ小説の主題歌や「愛燦燦」「上を向いて歩こう」など、患者さんにとって馴染みのある曲を、アンコールも含めて全8曲を演奏していただきました。

1時間程の演奏会でしたが、患者さんは生の迫力ある演奏に感動されている様子で、大きな拍手とともに演奏会は終了しました。松本市民吹奏楽団のみなさんありがとうございました。

秋祭り

平成27年9月16日（水）の午後に秋祭りが開催されました。昨年は、7月に夏祭りを開催し、お天気に恵まれず体育館での開催となりましたが、今年は雲行きが怪しい中、雨に降られることもなく、無事に1階駐車場で秋祭りを行うことができました。



射的

今年のお祭りは、桑村院長による全3曲の熱唱ミニライブから始まりました。14時頃から始まった屋台は、射的やわなげ・ヨーヨー釣りなどのゲームのコーナー、おそばとうどんの屋台・わたあめ・かき氷・チョコバナナの食べ物のコーナー、アイスコーヒー・コーヒーフロート・クリームソーダ・サイダーゼリーなどの飲み物のコーナーを設けました。



保育所も参加

お祭りらしくカラオケのブースも設けました。患者さんは自由に受付・エントリーをし、開放的な雰囲気の中で楽しそうにのびのびと歌っておられました。

平日に開催したため、ご家族の方の参加は例年よりも少なかったですが、近隣施設の利用者さんや、院内保育所のお子さんたちにもご参加いただくことができました。多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。

院内保育所紹介&グリーンカーテン報告

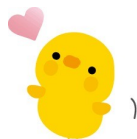
ミサトピア小倉病院には、財団職員のための院内保育所があります。保育所に預けられる子どもは、生後4カ月から小学校入学前までの年齢で、職員が勤務している日の朝8時から夕方6時まで、日曜祝日以外の日に預けることができます。

院内保育所は、病院の正面玄関を入ってすぐ左側にあります。入り口のドアは、保育士によりかわいく装飾が施されています。



保育所では、朝、保育所に子どもが登室すると、保護者の方に健康状態や昨晚からの様子を聞き、子どもさんの状態を把握します。その後は、季節やお天気にもよりますが、病院周辺のお散歩やプール遊び・雨の日などは体育館で身体を動かしたりして過ごします。

食事療養部で作ってもらったお昼ご飯を食べて、午後は、お昼寝をします。お昼寝から起きたら、おやつを食べて、絵本を読んだりして遊びながらお迎えを待ちます。



年間を通して、製作活動や四季折々の自然に触れながら、家庭的な保育を行っています。

介護療養病棟の職員が春から行ってきたグリーンカーテンの活動は、毎日の水やりと管理の成果が出て、今年もきれいで立派なもさもさの葉っぱのカーテンができあがりしました。

今年も、グリーンカーテンに咲いた朝顔を愛でたり、へちまの成長を見守ったりしながら、夏を涼しく過ごすことができました。



病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 地域連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟150床・老人性認知症疾患療養病棟50床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103
長野県安曇野市三郷小倉6086-2
TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

編集後記

院外誌としての「安曇野日和」を発行してから、広報委員の努力により今回で第17号となり4周年を向かえることができました。

毎年、異常ともいえる気象、火山の噴火には驚かせられます。常総市の洪水等を対岸の火事とは考えず、この地域でも起こると考え、備え十分しておくことが必要とつくづく思います。

広報委員長 樋口 孝

